

你好

中国語を学ぶ会

平成17年12月発行 第24号

連絡先 Tel 33-3177

神山 Fax 32-5594

中国語を学ぶ会 財政的危機に瀕す

まさか！とお考えでしようが現状のまま推移すると来年の八月になると繰越金も底をつきついに赤字に転落するという試算が示されました。

そこで去る十一月十九日急速役員会を開きその対策について話し合いを行いました。基本的には会員の増加が必須の課題となるわけですが、巷には年々各種の中国語教室が誕生し、たやすく会員を集められるような環境ではなくなりました。

しかしながら手をこまねいているわけに参りませんので中山会長を中心に於て四月の新学期を焦点にしぼった募集活動を展開することにいたしました。厳しい環境の中での募集ですから例えば三～五人の応募しか無かった場合、その人数だけで一班を構成すると却って費用の増加を招く結果となってしまいます。

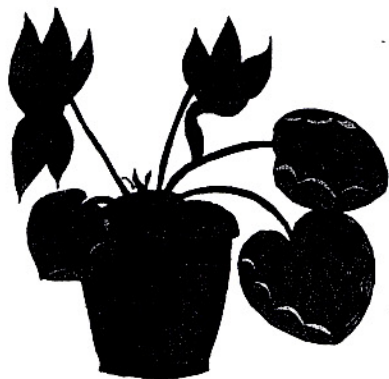
幸いにして十数名の応募があった場合でも新人班を加えて四班にすると財政的な改善は望めません。したがってそのような場合には現在の三班を二班に統合して運営していくことになること

思います。同様の皆さんにはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが当会の存続をはかるためにご協力をお願いいたします。

そのほか財政危機回避の策として、会費の値上げ・老師への謝礼金の減額・複数班へ参加している人の会費を増額する・現在の三班を二班に減らすなどの意見や提案がありました。また班ごとの独立採算制をとり赤字の大きい班の会費を値上げしてはどうかなどの意見もありましたが、現状三班制をとってはおりますものの当会はあくまでも一つの会としてサークル活動をしているわけですから所属班によって負担に相違があつたり、学びたい班に制限を加えたりするのは好ましくないという考えから見送ることといたしました。

新規会員を増加させることを第一義として当面活動を進めて参りますが、これが不調の場合は先に述べましたようなその他の策をとらざるを得ないことにならざるやも知れません。その折にはどうかご協力をお願いいたします。

皆さんにお願いがあります。会員の新規募集を成功させるためにはどんな方法が良いでしょうか、どんな媒体を使ったら効果的でしょうか。ライバルの募集広告と差をつけるためにはどんなコピーを用いたらより効果があると思いますか。役員会など一部の人のだけの考えや知恵には限界がありますので広く皆さんの考えを聞かせていただきたいと思ひます。早め早めに手を打つていかないと四月の募集に間に合いません。どうかご協力をお願いいたします。



うになったという。一方英語の普及によって若者の間では挨拶の第一声が「ハロー」というのも珍しくなくなったようである。

国が変われば挨拶も変わるのが当然であるが、私たちが日常使っている「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみなさい」などを中国語に翻訳するのは容易ではない。

「ただいま」「お帰りなさい」という挨拶が両方とも「回来了！」で済まされてしまうのも奇妙な話である。

障子の張替えはアイロン紙が便利

障子の張替えは任しとき！とばかりに毎年私が担当している。用紙にもいろいろあるが「アイロン紙」が一番便利で扱いやすいようだ。そのコツを伝授しよう。

1. まず古い紙を枠から剥がす。糊付けしたのならスポンジなどで濡らして剥がす。アイロン紙なら中温でアイロンをかければ剥がれる。
2. 枠の上に新しい紙を広げ一辺をマスキングテープで仮止めする
3. アイロンのスチームを切り、中温にして四隅を止める
4. 紙の長さを枠に合わせてカットする
5. 中心から外側へ向けてアイロンをかける
6. 縁部分の段差をしっかりと接着する
7. カッターガイド（金属の物差し）を使って余った紙をカットする
8. カットした余り部分はアイロンで温めて剥がす
9. これで完成！



(左ページ右下から続く)

「今日はなんの番組を見た？」と声をかけあった。90年代に入り住宅制度の改革が始まり人々は引越に忙しい時代になると知り合い同士が偶然出会ったりしたとき「どこへ引越した？」というのが挨拶になったりする。

このように中国人の挨拶言葉は社会生活の移り変わりを反映して変化して行くようだ。21世紀に入ると挨拶の仕方はますます多様化して、しばらく会わなかった友人などには「最近どこで儲けた？」と聞くよ

鳥インフルエンザ

鳥がインフルエンザに罹るなんて最近まであまり知られていなかった。ところがここ数年あちこちでこれが発生し、数万羽の鶏が処分されたなどのニュースが報じられている。

中国の湖南省では鳥インフルエンザに感染したと見られる人間の死亡が発表されている。わが国に飛来する渡り鳥などがインフルエンザ菌を持ち込んだら防ぎようがないだろう。

因みに鳥インフルエンザのことを中国語では「禽流感」qín liú gǎn と呼ばれています。

千葉ロッテが優勝

ちかごろめっきり寒さが増してきましたが秋はやっぱりスポーツのシーズン。

フィギアスケートフランス杯で15歳の浅田真央が優勝、賞金女王は宮里か不動か、高橋尚子ついに東京国際女子マラソンに優勝、朝青龍連続優勝なるか（本紙がお手元に届く頃には判明済）などなど話題が山積しています。

日本一になったロッテ球団、地元のはしやぎようは大変なものですが、このロッテを中国語に訳すと「乐天」、仙台に新しく生まれた球団「楽天」も同じく「乐天」。これでは区別がつかないのできちんと区別するときには「千葉ロッテマリーンズ」を「千葉乐天」や「千葉乐天海洋隊」などと、「東北楽天ゴールデンイーグルス」を「乐天鷹隊」や「东北乐天金鷹隊」のように言い分けているようです。

オーロラを見にカナダへ

星期一 小橋和江

見ると人生観が変わると言われているオーロラを見る為に、暮れから新年にかけてカナダのホワイトホースに行ってきました。

出ました。三日目に、正確には二日目の帰りのバスから霞み程度でしたが、見えました。でも、「オー！これがオーロラ」か、というのとは三日目です。綺麗でした。写真、映像で見ると同じようでしたが、本物は違うのが実感です。オーロラを見た興奮に浸りながら帰国の準備をして、そのまま寝ずに飛行機に乗る三泊五日の強行日程でしたが、行ってよかったです。

カナダは銃社会でない為か、夜十時頃まで店は開いているので出歩けます。でも、マイナス三十度から四十度の世界では、ふらふら歩けません。もちろん治安も良く、人柄も良い、景色も最高そして、人口も少ないせいも人も車もあくせくしていませんよと、現地に住んでいる日本人のガイドさんが言いました。本当のようです。オーロラを見るための環境は整っている場所にも思えました。

自然界には人間がどうすることも出来ない物があります。一つは暮れにあった災害を起すもの。もう一つはどんなものにも負けない無償の感動をあたえてくれるもの。

この年令でも純粹に興奮しました。出てくれようオーロラの旅でした。でも一言今のところ人生観は変化無し。

この原稿は小橋さんからだいぶ前にいただいたのですが、その後「你好」の発行が途絶えてしまい皆様にお届けするのが大変遅くなり申し訳ありません。

早いもので師走となってしまいました。年賀状を書いたり、大掃除をしたり、障子を張り替えたりとなにかと忙しい気分になってきます。

中国語を学ぶ会でも恒例の忘年会を21日(水)に開催します。詳しいことは別途通知があると思いますが、毎回今村さんのお骨折りで楽しいひと時を過ごさせていただき感謝しております。

一つの会でありながら三班に分かれているためにお互い顔を合わせる機会も少ないので、忘年会とか餃子の会とかにはぜひ参加していただきたいと思っています。

先日の役員会で、来春には花見とかハイキングのような親睦行事をしてみたいというような話もありました。その折には多数の参加を期待しています。実現するといいですね。

中国人の挨拶言葉

私が中国語を習い始めたころ、中国人は「飯食ったか？」吃饭了？あるいは吃了没有？という挨拶をするのだと教えられたものだ。いまだき中国人にこんな挨拶をしたら多分ぶん殴られるかもしれない。

当時は物の乏しい時代で3食つつがなく食べられるかどうかは庶民の最大の話題だったのだろう。

それでは現在ではどんな挨拶をしているのだろうか。当然「你好」だろうと思いませんか。とんでもない、知人同士でこんな挨拶は交わす人は先ずいないでしょう。

今、中国で最も新しい挨拶用語は

「最近去哪儿旅游了？」最近どこへ旅行した？だそう。中国人の生活が豊かになり国内の観光旅行はおろか海外旅行まで行けるようになった人が増えてきた証拠である。

北京の天安門広場を右往左往する人たちの殆どはお上りさんである。嘘だと思ったら今度行ったときに道などを尋ねてみるがよい。きっと「我不知道」という返事が返ってくるはずだ。上海の南京路の雑踏を構成しているのも同属である。

テレビ放送が始まり、受信機が各家庭に普及し始めると (右ページの上に続く)

この会をみんなで盛りたてよう

一九七二年、田中角栄さんが日中邦交正常化の調印をした年に私たちの「中国語を学ぶ会」が発足したと聞いています。三十三年という長い歴史を有する中国語を学ぶ会を私たちの代で危機に陥れるわけにはいきません。みんな協力して建て直しをはかりましょう。

このように長い歴史を築くことができたのも中国語を学ぶ会の中で縁の下の方持ちとなって奉仕をしてくれた方々のお陰だと思っています。

現在でも同じです。毎月の会費さえ払っていただければ決められた曜日に決められた場所です。楽しく中国語を学ぶことが出来ます。しかしそのために多くの方が目立たないところで努力をしていただいているのを忘れてはならないと思います。



例えば歴代の会長や役員の方々、教室の予約を取ってくれている方、早く来て教室を開け空調などの準備をしている方、毎月の会費を集めてくれている方、それらをまとめて先生へお渡ししている方など数え上げれば外にもたくさんの方々の仕事があります。黙々と働いている方々本当に有難うございます。

学ぶ目的はさまざま

現在の会員は中国語検定に合格するためにとか仕事に生かすためになど切羽詰った目的のもとで学んでいる人は少数派だと見受けられます。

さて、それではなんのために中国語を学んでいるのですか？ 大きなお世話かもしれませんがせつかく学んでいる中国語を通じて中国の現状などを考えてみるのも面白いと思います。

中国が小泉さんの靖国参拝にどうしてあれほど反対しているのか。靖国にはA級戦犯が祀られているからと言っていますが明治維新から大東亜戦争までの戦没者約二五〇万人が祀られている中で戦犯はほんの少数です。

私の兄も戦死し靖国に祭られています。靖国で会おうと言って死んでいった多くの若者のことを考えると靖国以外の施設を作ることなんてまったくのナンセンスです。戦犯を合祀からはずすということに何の意味があるのでしょうか。合祀とは一宗教法人の観念上の行事です。

総理が靖国に参拝することが中国にとつてどんな不利益になるのでしょうか。日本の大使館に投石をさせ、日系の商店を破壊し、サッカーの国際試合で日本側に恐怖を感じさせるような行動をとらせる。

これは中国の若者たちだけの意思で起こされた問題ではないと思います。こんな事までして国民の目をそらさせなければならぬ事情があるのではないかと考えるのは間違いないでしょう。こんなことを考えながら中国語を学び、中国への旅行をするのも面白くそして役に立つものです。

一年ぶりの発行です

前号の発行が十六年十月の第二十三号だからもう一年以上も経ってしまいました。

それまではほぼ三ヶ月間隔で発行しており、都度皆さんから原稿をいただいていたのですが次第に投稿が減り、仕方なく私のつたない文章で埋め合わせをしてきました。

それでもう発行を中止しようと思っておりましたところ、先日の役員会で中山会長から強く発行の要請がありましたので再び刊行する運びとなりました。

特に今回のように会の内情を皆さんにお知らせし十分に認識していただくには恰好の媒体ではないかと考えました。



これからも会員の皆さんの体験談や旅行記、感想や学習成果の発表などジャンルにとらわれずなんでも結構ですから多くの投稿をお願いいたします。

今回はなるべく早くお知らせしたい内容でもあったので取り敢えず一枚四ページで発行しました。